

第3回 秋田県由利本荘市沖における協議会

2020年3月30日
経済産業省資源エネルギー庁
国土交通省港湾局
秋田県

専門家からの情報提供及び前回の補足事項等について

1. 専門家からの情報提供

NHKエンジニアリングシステム 伊藤 泰宏 氏

「風力発電設備によるテレビ受信障害と対策について」

2. 第2回協議会を踏まえた補足事項等

- ・ 区域の分割及び公募の考え方

前回の補足事項等

由利本荘市沖（北側・南側）は、想定する出力規模が70万kW程度と比較的大きな区域となっている。

- 第1回協議会において、事務局から説明したとおり、経済産業省及び国土交通省が定めた促進区域指定ガイドラインでは、法律上の促進区域の指定基準の一つである「気象、海象その他の自然的条件が適当であり、発電設備を設置すればその出力の量が相当程度に達すると見込まれること」のうち、「相当程度の出力の量」に関しては、欧州の例を参考に約35万kWという目安をお示ししている。
- また、第2回協議会において、有識者から欧州における洋上風力発電所の規模に関する情報提供をしていただき、次のようなご示唆があったところ。
 - 欧州における洋上風力発電所の規模は、当初は、多様なプレーヤーに経験を積ませる目的から比較的小規模から始まり、技術や産業の発展とともに大規模化が進んできている。
 - 海域利用者を決定する入札に当たっては、いかに事業者間の競争環境を確保していくかが重要。
- 他方で、第1回及び第2回協議会において、一部の構成員からは次のようなご意見をいただいた。
 - 洋上風力発電設備の建設工事による生態への影響を考えると、公募は一度に実施した方がいいのではないか。あえて35万kWに分ける必要はないのではないか。
 - 海を割ることなく、促進区域は一つでお願いしたい。

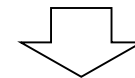
由利本荘市沖（北側・南側）における区域の分割及び公募の考え方②

- 先にお示した区域の分割及び公募に関する考え方・ご意見を**最大限両立**させるため、次のとおりとしてはどうか。
 - 促進区域は、**北区域及び南区域に分割して指定**をする。
 - 公募に当たっては、**「北」「南」の両方を統一した計画と、「北」「南」のみの計画のいずれも受け付ける**こととする。（事業者によっては「北」のみ、「南」のみの計画を提案することも可能。）

<公募参加イメージ>

	北区域(35万kW)	南区域(35万kW)
A社	A	
	A-1	A-2
B社	B-1	
C社		C-1

- ・A社は、「北」「南」の両方での統一的計画。
 - ①「北」「南」の両方を統一した提案
 - ②「北」、「南」で分けた場合の提案の2通りの提案を行うことが可能。
- ・B社は、「北」のみの提案
- ・C社は、「南」のみの提案



「北」「南」のみの参入も、「北南両方」の参入も可能とした上で、**南北全体で最適な事業の組み合わせを採択。**